

北九州市立松ヶ江中学校 学校通信

今は未来のためにある

令和8年度に高める力のキーワード

「あいさつ」、「黙働」、「敬語」、「アンテナ力」

No.16 令和8年7月8日 発行者;校長 小倉 大二

【学校教育目標】

校訓「誠実・勤勉・礼儀」に則り、
思いやりの心を持ち、
新たな価値創造に挑戦する中で、
母校への誇りをはぐくむ生徒の育成

正門横の壁画完成

美術部が制作していた正門横の壁画が完成しました。下の写真が完成した壁画です。

作成途中、地域の方々から「生徒さんたち、がんばっていますね。」「以前の絵が消えかかっていて、壁が気になっていました。ありがとうございます。」など、おほめのお電話をいくつもいただきました。生徒への励ましとなり、感謝しています。

これからも、地域に愛される松ヶ江中学校でいたいと思います。



壁画のコンセプト「絆(きずな)」

宇宙(そら)から伸びる手と海から伸びる手とが、固い握手をしています。それを太陽が温かく見守っています。いろいろな「うねり」は「躍動」を表しています。

松ヶ江中学校の「生徒と生徒」、また、「生徒と教員」、また、「松ヶ江中学校と地域の皆様」といった、いろいろな関係性での「絆」を表しています。

松ヶ江中学校で、いろいろな「絆」が生まれ、よりよい未来に向けてがんばっていく生徒たちの姿を表現しています。

本市の熱中症防止の取組

現在、熱中症防止の取組として、北九州市の小・中学校では、「暑さ指数(WBGT)」の値が「31℃」を超えると、すべての屋外での活動を中止することになっています。「暑さ指数」とは「気温」だけでなく「湿度」「日射・輻射熱（地面からの照り返しなど）」の3要素を取り入れ、熱中症の危険度を数値化した指標です。

部活動も例外ではなく、活動場所の「暑さ指数」の実測値が「31℃」を超えた時点で、部活動を中止するか、空調（冷房）の効く部屋に移動し、その部屋でできる活動を行うことになります。

夏休みの部活動については、顧問から保護者会を通じて、活動の有無等の連絡が入ることになります。天候によって当日の連絡になる場合もあります。何卒、ご理解、ご協力ください。

夏休み明けの水泳学習に向けて水着の用意を！

上記の「暑さ指数」への対応は、水泳学習にもあてはまります。水泳学習は水の中での活動で、案外、熱中症とは関係ないように思えます。しかしながら、泳ぐ際も体から汗が出ており、また、水中では汗をかいても気づきにくく、通常の運動よりも体に大きな負荷がかかり、脱水症状が進行しやすいため、より熱中症に気を付けなければなりません。

ついでに、近年の猛暑、また、梅雨時期が重なることもふくめ、今年度から本校の水泳学習を6月（夏休み前）からではなく、夏休み後に実施することになりました。

そこで、つい先日、生徒に「水着販売のご案内（マツエイ）」のプリントを配布したところです。

中学生の成長は著しいため、昨年度まで着られていた水着が着られなくなっている場合もあります。夏休みの間に、サイズなどの確認を含め、水着の用意をお願いします。

松ヶ江中学校
水着販売の《ご案内》

☆☆☆お 知 ら せ☆☆☆

いつもお世話になります。
サイズ表を揃えておりますので、店舗までご来店下さいませ。

価格表金額は、消費税込み価格です。
※ セパレートは（上）（下）バラ販別も致します。

男子用			女子用		
タイトサーフパンツ（紺色）			セパレート（紺色）		
サイズ	股下長	価 格	サイズ	股下長	価 格（上） 価 格（下）
150	140-150	2,620円	150	140-150	
S	150-160		S	150-160	2,990円 （ノット付き）
M	160-165		M	160-165	
L	165-170	2,870円	L	165-170	
LL	170-175		LL	165-170	
ダッシュ水泳パンツ（紺色）		L 660円 LL 730円	スイミングバッグ（紺・青）		1,120円
ラッシュガード	150-LL	3,110円			

（取り扱い販売店）

マ ツ エ イ（文芸部）
吉志 1-3-11 グリーンパル門前（ゆめマート恒興店）
TEL 481-2089 FAX 481-1555

水難事故に気を付けましょう

先日、「松ヶ江中学校の生徒？ らしき子どもたちが、曙橋、下吉志橋のところの河川に降りて泳いで遊んでいる」という通報が入りました。近年、農業用水路・河川等での事故が多発しています。特に、ゲリラ豪雨や梅雨時期の増水等の事故に巻き込まれるケースが増えているようです。教育委員会からも以下の注意喚起が来ています。地域の方々も心配しています。以下のことについて、お子様への声掛けをお願いいたします。

1 河川で遊ぶときには

- 遊泳禁止区域等、危険箇所では決して遊ばない。
- 大人と一緒に行く。子どもだけでは遊びに行かない。
- 大雨注意報・警報が出ているとき、河川や水辺には行かない。

2 河川水難事故を防ぐには

- 河川が氾濫してからでは遅いので、早めに避難すること。
- 避難が遅れた時には、建物の高い場所に避難すること。
- 川の様子が急変する前兆（山鳴り・増水、水の濁り、流木・減水・腐った土や火薬のようなにおい等）があれば、避難すること。